



北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

ほほえみ通信 Vol. 129

2019/12/23 発行

第129回 ほほえみ 開催

12月18日（水）第129回 ほほえみを開催しました。
今回は6名の方が参加してくれました。

1月25日（土）15時より当院北館1階 多目的ホールミニ
にて、市民公開講座を開催します。

講師に虎の門病院 臨床腫瘍科部長の高野利実先生をお迎えし、
『がんとともに、自分らしく生きる』という演題で講演いただきます。
参加料は無料ですが、事前申込みが必要になりますので、聴講希望の方は、
北見赤十字病院がん対策推進室（0157-24-3115）までお電話下さい。
皆様の参加をお待ちしております。



次回のほほえみは、1/15（水）14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります

【がんサロン事務局より】

『甘えることもいいものだ』

（がん体験記）

日本人は特に“勤勉”と言われる。そのせいか、我慢強さもあるのかもしれない。
でもがんになると、我慢をすることが増えていきます。それは手術の痛みやがんの腫
瘍による痛み、抗がん剤などの治療による体調不良・・・。

「我慢しないで教えてください」と、私は入院中、看護師さんに言われました。でも、
どこまで我慢していいのか、どこまで言っていいのかわかりません。

それに、「あまりつらいことを訴えても、わがままのように思われそう」との思いも
ありました。でも口にしなければ、相手には伝わりません。素直になることの難しさを、
がんになって改めて考えさせられたのです。

そして、がんになって、周囲の人たちの優しさも深く感じるようになります。

「私のがんだから優しくしてくれるんでしょ？ 私が死ぬかもしれないからそんなに
優しいんでしょ？」

そんな思いも過ぎりました。

でもきっと逆の立場だったら、私も病を患った人に同じように接すると思うのです。

「だったら遠慮せずに、思い切り甘えよう」と考えるようになりました。

「大丈夫、大丈夫」と、つらい顔をして言うよりも、私が笑顔でいることが、きっと
周囲の人たちは嬉しい。私が笑っている方が、きっと周囲の人たちを笑顔にする。

難しいかもしれないけれど、たまには周りに甘えてみよう。

「ありがとう」の言葉を添えて――。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）